



2月を迎え厳しい寒さが続いておりますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。この季語・季節を表す言葉として、立春、早春、春雪、残寒、節分など、寒い冬を超え春の気配を感じるもののワードが沢山あるのが特徴です。春が待ち遠しいですが、頑張って乗り切りましょう。皆さまのご協力によりコミュニティの各部活動も残り少なくなってきましたが、年度活動計画の達成に向けて邁進したいと思いますので、皆さまのご協力の程宜、宜しくお願いいたします(事務局)



嬉野小学校「むかし遊び」



コロナ感染症防止のため4年間中止していました小学1年生を対象に「むかし遊び」を体験学習として学校が取り入れ、指導者として嬉野地区老人会(31名)の皆さんとコミュニティ役員及びボランティアの皆さん(10)名が参加し、各グループ毎に分かれて、昔遊んだん道具を使い子供たちに道具の使い方(遊び方)を指導しました。また、体験学習が終わってから、学校側のご配慮により1年生の皆さんと一緒に学校給食を食べ、最後に子供たちから感謝の言葉を頂き、楽しい時間を過ごしました。老人会の皆さん、ボランティアの皆さん本当に有難うございました(青少年育成部)

子供たちとの対面式です

竹うまへ挑戦しています

メンコ(ぺちゃ)で勝負

オハジキで楽しんでいます



あや取りを習っています

ゴム飛びに挑戦

老人会と子供達の楽しい給食

最後に子供達から感謝の言葉を頂きました



新庁舎建設工事安全祈願祭

いよいよ建設工事が始まります。これまで検討委員会で協議されて来ましたが、1月23日(木)に安全祈願祭を嬉野第2庁舎跡地で嬉野市長を始め市職員及び市関係者団体、建設に携わる関係者団体など約90名以上の方々が出席され、肅々とおこなわれ無事終了しました。これから工事に入り、令和8年6月末の完成予定で、令和8年10月供用開始に向けて進められます。工事期間中は区民の皆さまにご迷惑をかけますが、ご協力宜しくお願いいたします。(総務広報部会)



社協災害ボランティアセンター設置・運営研修会

昨年は能登半島地震・豪災害など、相次いで発生し被災者支援の重要性が不可欠となっております。佐賀県社会福祉協議会全体でも災害ボランティアセンターを設置・運営し、地域住民の生活復旧支援に取り組んでいます。今回は嬉野市社会福祉協議会と市職総務課が中心となり、県内の社協関係者、市コミュニティ、市民児協などが参加し、実際に起こった場合を想定し訓練を実施しました(総務広報部会)



嬉野地区地域コミュニティ
事務局長 大久保 周生
電話 0954-42-3961